

第3学年C組 体育科学習指導案

授 業 者 佐藤 秀恒
研究協力者 松本 奈緒

- 1 単元名 みんなでつないで、みんながゴールを決めよう！！～自分の力で・チームの力で～
(ゴール型ゲーム：ハンドボールを基にした易しいゲーム)

2 子どもと単元

(1) 子どもについて

これまでハンドベースボールの学習において、「遠くに打つ」「強く投げる」「落とさず捕る」ためのコツを自分たちで見付け、そのコツを意識して使いながら練習やゲームを行ってきた。運動をする自分の姿は自分自身では客観的に見ることが難しいため、互いの動きを見合い、動き方と結果(得点や様子)を関係付けてコツを考えることで省察を行った。コツを意識して使うと、そうでなかった自分の動きに比べて「上手にできた」と実感する子どもの姿が多く見られた。

しかし、昨年度までボールゲームや鬼遊びを経験しているものの、運動技能の個人差はとて大きい。空いている場所を見付けて、速く走ったり、急に曲がったりする動きや相手(鬼)のいない場所に移動したり、駆け込んだりする動きを全員が十分に身に付くまでには至っていない。

(2) 単元について

ハンドボールを基にした易しいゲームは、比較的ボールを操作しやすい手を使ってパスをつなぎゴールを決める運動である。個人のスキルを高めながら、仲間と力を合わせて得点を重ねる中で、空いている場所に動いたりパスをつないだりしてシュートする楽しさに気付くことが期待できる。

本単元では、基本となるボール操作やボールを持たないときの動きを身に付けることに重点を置く。様々なタスクゲームを通して、自分たちで上達するためのコツを見付け、それを全体で共有し、試しながら学習を進めていく。最終的にはゲーム大会の中で、空いている場所に動いて、仲間とパスをつなぎながらゴールを決める楽しさを味わうことで、ボールを持ったときゴールに体を向けたり、味方にパスをしたり、シュートしたりする資質・能力とボールを持たないときボール保持者と自分の間に守備者がいない所へ移動して攻める資質・能力を高めることを目指す。

(3) 指導について

本単元で資質・能力を育むために、守備をしている相手やコート全体のスペースに着目して、ボールを持たないときの動きのコツを見付けてプレーするという「見方・考え方」を働かせた学習活動を位置付ける。

子どもたちがボールを持たないときの動きを身に付けることができるようにするために、毎時間にウォーミングアップで、前時まで行った動きながらシュートをしたり、パスをしたりする運動を繰り返し取り扱う。また、単元の前半ではタスクゲームで、コツを見付けたり、見付けたコツを試したりする時間を十分に保障する。見付けた動きのコツを互いに試してみることができるように、仲間の動きや教師のモデルを見ながら、パスをつなぐためには、ボールを持っていない人がどこに動くか、客観的に省察する場面を意図的に取り入れる。また、より自分やチームに合ったコツを身に付けることができるように、全体でコツを共有した後自分が試したいコツを選択し、試す時間を設定する。

単元の後半では、タスクゲームで見付けたコツを活かしてゲーム大会を行う。ゲームで使いたいコツを決めて実践することで、スペースに動いて仲間とパスをつなぐことがゴールに結びついたという実感を得られるようにする。選んで行ったコツが課題解決に結び付いたかを視点にした振り返りの時間を大切に、次の学習につなげるようにしていきたい。

3 単元の目標〈記号は本校の資質・能力表による〉

- (1) 運動の楽しさに触れ、ゴール型ゲームの行い方を知る。 (E-c-1)
ボールを持ったとき、ゴールに体を向けたり、味方にパスをしたり、シュートしたりすることができる。 (E-d-1)
- (2) ボール保持者と自分の間に守備者がいない所へ移動することができる。 (E-d-4)
- (2) ゴール型ゲームに応じた簡単な作戦を選ぶとともに、考えたことを友達に伝えることができる。 (E-b-3)
- (3) 運動に進んで取り組み、ルールを守り、チームで協力しながら楽しくゲームに取り組むことができる。 (a-1・2・3)

4 単元の構想（総時数 7 時間）※選択・決定を通して、自律的に学習を進めるための支援

E ゲーム ア ボールゲーム（2年）
 ・簡単なボール操作 ・簡単な攻めや守りの動きなどのボールを持たないときの動き

時間	学習活動 （・は予想される子どもの姿）	教師の主な支援	評価（本校の資質・能力との関連）
1 2・3・4・5 本時	(1) オリエンテーションを通して学習の見通しをもち、試しのゲームを行う。 ・どんな学習をしていくのだろう？ ・ゲームの中で、ゴールを決めたいな。 — 学習課題 — タスクゲームを通して、ゴールを決めるためのこつやボールを持たないときの動きのこつを見付けよう。	・見通しをもって学習に取り組むことができるように、全体計画を提示して学習の流れを確認する。 ・今自分ができることやできないことに気付くことができるように、試しのゲームの時間を設定する。	・学習の進め方を知り学習の見通しをもつことで、ハンドボールへの関心を高めている。 〈a-1・2・3〉
	(2) 基本的なボール操作やボールを持たないときの動きを身に付けるために、タスクゲームを行う。 2: 投能力を高めるタスクゲーム 3: シュートのこつを身に付けるタスクゲーム 4: パスのこつを身に付けるタスクゲーム 5: 空いている場所への移動するこつを身に付けるタスクゲーム — 学習課題 — 見付けたこつを試しながら、チームで協力してゴールを目指そう。	・動きのこつを見付け、そのこつを使ってみるができるように、ねらいに合ったタスクゲームを取り入れる。 ・動きのこつを共有できるように話し合いの場を設定し、子どもたちの発言をキーワード化する。 ・共有したこつを身に付けることができるように、繰り返して試したり、選び直して試したりする場を設定する。	・タスクゲームを通して、基礎的なボール操作を高めている。 〈E-d-1〉 ・タスクゲームを通して、ボールを持たないときの動きを高めている。 〈E-d-4〉 ・自分やチームがゴールするためのこつについて考え、伝え合っている。 〈E-d-4〉
	(3) 個人やチームでこつを試しながらゲームを行う。 ・ゲーム1でやってみたけれど、上手くいかなかったから別のこつを使ってみよう。 ・こつを意識したつもりだったが、動画で確かめるとできていなかったのが分かったよ。	・ゲームの中で使うこつを確認することができるように、前時までにでてきたこつを掲示する。 ・こつを意識して活動することができたかを確認するため、ゲーム後にタブレット端末で録画した動画を基に話し合う時間を設定する。	・見付けたこつを意識的にゲームで使っている。 〈E-d-1, 4〉 ・自分ができるようになったこと、まだできていないことを考えて、振り返りを書いている。 〈E-b-3〉

○本単元の学習活動で働かせる主な「見方・考え方やボールを操作する。」
 に着目して、ボール操作のこつを見付けてゲームをする。

◎本単元で育む主な資質・能力

ボールを持ったときゴールに体を向けたり、味方にパスしたり、シュートしたりする。 〈E-d-1〉
 ボール保持者と自分の間に守備者がいない空間に移動して攻める。 〈E-d-4〉

E ゲーム ア ゴール型ゲーム ミニサッカーを基にしたゲーム（3年）
 E ゲーム ア ゴール型ゲーム ハンドボールを基にしたゲーム（4年）
 ・基本的なボール操作 ・ボールを持たないときの動き

5 本時の実際 (5 / 7)

(1) ねらい 守備をしている相手やコート全体のスペースに着目し、タスクゲーム (ぬきっこゲーム) を通して、守る人がいない場所に移動しながら攻めることができる。
 (E-d-4)

(2) 展開 ○省察を通して、自律的に学習を進めるための支援
 ※選択・決定を通して自律的に学習を進めるための支援

時間	学習活動 (・は予想される子どもの姿)	教師の支援 評価
5分 3分	① 準備運動をする。 ・パスのこつとシュートのこつを意識して使ってみよう。 ② 学習課題を確認する。 ・今日も動きのこつを見付けてたくさんゴールを決めたいな。 学習課題	・前時までの基本的なボール操作 (シュート・パス) を想起することができるように、パスからのシュートゲームを行う場を設定する。 ・これまで学習した活動を振り返る場を設定し、本時の課題へつなげる。
15分	③ タスクゲーム (シュートなし) をして、動きのこつを見付ける。	・ボールを持たないときの動き方に気付くことができるように、タスクゲーム (ぬきっこゲーム) を設定する。 ・見付けたこつをグループの仲間と確認することができるように、活動する時間と記入する時間を区切って設定する。
7分	④ 気付いたことをみんなで共有する。 【キーワード】 ・別々に・広がって ・ゴールの近くへ・空いている所 ・守りがいない所	・全員がゲームの中で動きのこつを意識してプレーできるように、子どもたちの発言をキーワードにして板書する。 ○「仲間とちらばって」「守りがいないところ」など『空いている所』をより具体的にイメージできるように、「この場面なら、どう動くか」と投げかける。
10分	⑤ 共有したこつをタスクゲーム (シュートあり) で試す。 ・仲間と動きが重ならないようにちらばってみよう。 ・守っている相手がない時がチャンスだったね。	※自分に必要なこつを自覚することができるように、自分が選んだこつを試し、また選び直して試すように声掛けをする。 ○自分が選んだこつが効果的であったかを確認するために、兄弟グループからの助言をもらったり、タブレット端末で録画した動画の確認をしたりする場を設定する。
5分	⑥ 学習を振り返る。 ・パスをもらう前の動きも大切なのが分かったよ。 ・次のゲーム大会でもこつを意識して攻めて、たくさんゴールを決めたいね。	見付けたこつを使って、守る人がいない場所に移動しながら攻めている。 (E-d-4) (行動観察・学習シート) ○自分や友達のよさを実感したり、次の時間の課題を確認したりすることができるように、振り返りの場を設定する。

